

ありた

発行者

医療法人八宏会有田胃腸病院
大分市牧1丁目2番6号
地域医療連携室
2019年6月1日

医療法人八宏会有田胃腸病院 地域医療連携室から、有田胃腸病院の最新情報をお伝えいたします。この広報誌が、弊院をより知っていただく一助になれば幸いです。

今月のINDEX

新理事長挨拶
名誉理事長挨拶
院長挨拶
新入社員紹介
入社式紹介
放射線科より
看護部より
栄養部より
リハビリより
2病棟より

有田 桂子
有田 毅
白水 章夫
新任医師紹介
新年度の病院紹介
放射線科マンモグラフィーの健診の取り組みについて
医療安全の取り組みについて
排便日誌で自己の排便サイクル知ってもら
リハビリテーションの紹介について
レスパイト入院の患者様・家族の思い

新理事長挨拶

この度、医療法人八宏会有田胃腸病院の理事長に拝命致しました。当院を今日まで支え育てて頂いた多くの方々に深く感謝いたします。開院から39年、消化器疾患専門の医療機関として地域の皆様から厚い信頼を得てまいりました。癌の治療は正確な診断の上に成り立ち、術後も術前と同じようにおいしく食事ができるQOL（クオリティ・オブ・ライフ）を重視した手術を実践してきた前理事長の熱い気持ちを継承し、今後もしっかりと取り組んでいく所存です。

これから日本は、本格的に高齢化が進んでいきます。

当院では、高齢化対策の一環としてリハビリテーション部門を開設し、地域包括ケア病床の活用や訪問診療を始めました。入院初期の段階から退院にむけて日常生活能力の維持・向上を目的としたリハビリテーションを行い、早期退院を実現します。また、介護負担軽減を目的としたレスパイト入院（一時預かり入院）なども取り入れ、この地域で生活する患者様やご家族が自分らしく生きることができるようサポート致します。

患者様、ご家族の方々に『この病院にかかってよかった』と思っていただける病院、『ここで働いて良かった』と思える病院を目指し、今後も消化器科専門病院として邁進していくとともに、高齢化社会における病院として、病院でなければできない様々なサービスを職員一丸となって充実させ、幅広い年齢層の方に安心して利用していただけるように日々努力致します。今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



新理事長 有田 桂子

名誉理事長挨拶

昭和56年に開設し39年に渡り消化器疾患の診療に携わってきました。当初は診療所からのスタートでしたが、多くの先生方からのご協力を頂き消化器科専門病院として多くの患者様にご支持頂けるようになった事を心より感謝いたします。

これから始まる令和の時代におきましても、引き続き有田胃腸病院をご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



名誉理事長 有田 毅

院長挨拶

平成の御代が終わり、5月より令和の時代が始まりました。
皆様方におかれましては、気持ちも新たに、健やかに新たな時代をお迎えの事と
思います。

当院も消化器科専門病院としてこの地に開院して以来、39年目を迎える事となりました。これもひとえに皆様方の支えがあったからこそ感謝しております。
令和の時代に合わせたわけではありませんが、当院では本年4月より、有田桂子
先生を新理事長とし、新しい体制でスタートする事となりました。これを機に
総合診療科の開設や、リハビリテーション科の充実など、消化器疾患だけでなく、院長 白水章夫
高齢化する地域医療のニーズに対応する体制を作り上げることができると思います。
ですが、消化器疾患の専門病院という根幹は揺らぐものではありません。昨年5月より開始しまし
た上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）の予約制も完全に定着することで、患者様の待ち時間の短縮
にもつながっております。また、検診での胃カメラの受け入れも増加し、検査数は増加していま
すが、本年4月より消化器内科医が1名増員となりましたので、十分対応できると考えております。
消化器外科領域では、良性疾患である胆嚢結石症や鼠径ヘルニア、悪性疾患である胃癌や大腸癌に
対する手術を体にやさしい腹腔鏡下手術をメインに引き続き行ってまいります。
令和の時代が当院にとって、変革と飛躍の年となるべく、有田新理事長の下、職員一丸となり努力
していくつもりですので、何卒よろしくお願い致します。



新任医師紹介



総合診療科
杉谷 誠爾 医師

『総合診療科として、急性期
疾患から回復期まで、幅広い
病気に対応していきたいと思
います。よろしくお願い致し
ます。』



消化器外科
折本 大樹 医師

『この度、赴任しました外科
の折本大樹です。
消化器外科を中心に修練して
おります。地域の医療に貢献
できるよう頑張ります。』



消化器内科
柴田 久美子 医師

『初めて大分で働きます。
分からないことだらけです
が患者様の為に一生懸命頑
張ります。 よろしくお願
いします。』



集合写真

H31年4月1日
入社式を行いました

協会けんぽ生活習慣病予防健診

平成30年4月1日より協会けんぽ委託医療機関に認定されました。

全国健康保険協会（協会けんぽ）健康保険の生活習慣病予防健診を受ける事ができます。

協会けんぽ加入の被保険者（本人）で35歳から74歳の方が対象で、年度内お一人様1回に限り、協会けんぽから健診費用の一部補助があるため、自己負担費用は7,038円で受診可能です。

☆お申込み方法☆

健診ご希望の方は、**当院健診部にお電話で予約いただくとともに、職場から協会けんぽへのお申込みが必要です。**

ご予約は随時お受けしております。

健診部

097-556-7077

予約受付時間 9:00～16:00(火曜・祝日を除く)

乳がん検診

✂マンモグラフィ(乳房エックス線撮影)✂

乳房は柔らかい組織でできているため圧迫板で平たく引き伸ばして撮影します。当院では、一方の乳房を2方向から撮影し、左右あわせて計4枚撮影していきます。所要時間は、更衣から撮影終了後の写真確認までで20分程度です。

料金 3,800円

※大分市の乳がん検診の無料クーポン券がご利用になれます。

✂乳腺超音波検査✂

超音波検査は若い方や授乳経験のない方の乳腺組織の中のしこりを見つける能力の高い検査です。発達した乳腺の場合、マンモグラフィのみでは正常乳腺組織と腫瘍の区別が難しい場合がありますので40歳未満の方に適しています。痛みは伴わず、放射線被ばくの心配もありません。

※現在、乳腺超音波検査のみの検診は行っておりませんのでご了承ください。

マンモグラフィ併用の場合 6,500円

☆完全予約制

☆当院では**マンモグラフィ検査・乳腺超音波検査を女性の認定技師が、画像診断を読影認定医師が行っております。**

医療安全管理部より

医療安全地域連携による相互チェックを受けました。

2019年1月8日（火）に大分県立病院様の医療安全担当者

の方がお見えになり、当院の医療安全対策について相互チェックを受けました。

これは、2018年4月より医療安全地域連携加算に関わる要件の1つであり、当院の医療安全の質の向上はもちろんのこと、地域での医療安全力の向上に繋がることを目的としています。

当院は初めての相互チェックであった為、事前に院内の職員向けに研修会を開催し、医療安全地域連携についての「概要」と「取り組み」を学び、職員の意識向上（相互チェックの大事さ）を図りました。当日は書類確認、院内ラウンドを行い、その後の意見交換では大変貴重な意見や改善事項を頂き、今後の当院の医療安全の向上に繋げていきたいと考えております。



便秘の原因は、薬剤により腸管運動が阻害される「薬剤性便秘」や、癌などで腸が狭くなり便が通りにくくなる「器質性便秘」と「機能性便秘」があります。機能性便秘には、大腸の動きが悪く便が長く大腸にとどまる「弛緩性便秘」、排便を我慢する事で便意を感じなくなってしまう「直腸性便秘」、痙攣が強く便が先に進まない状況の「けいれん性便秘」があります。日本人の常習性便秘の2/3は弛緩性便秘といわれています。弛緩性便秘の予防には、規則正しい日常生活・食事・排便・適度な運動が良いとされています。まずは、ブリストルスケールで「お通じ日誌」をつけてみましょう。ご自分のお通じパターンは何日？下剤を飲んだらどんなお通じ？など記録をする事で排便障害のタイプが分かります。

✿ ブリストルスケール ✿

～コンチネンスケアから引用～

①コロコロ便		硬くてコロコロの兔糞状の便
②硬い便		ソーセージ状であるが硬い便
③やや硬い便		表面にひび割れのあるソーセージ状の便
④普通便		表面がなめらかで柔らかいソーセージ状、あるいは蛇のようなとぐろを巻く便
⑤やや軟らかい便		はっきりとしたしわのある柔らかい半分固形の便
⑥泥状便		境界がほぐれて、ふにやふにやの不定形の小片便泥状の便
⑦水様便	水状態	水様で、固形物を含まない液体状の便

☆☆ お通じ日誌 ☆☆

試しにつけてみませんか？？(^^)/

日付(曜日)			月 日()			
起床時間			:			
食事について	朝食	食べた時間	:			
		主な食事内容				
	昼食	食べた時間	:			
		主な食事内容				
	夕食	食べた時間	:			
		主な食事内容				
就寝時間			:			
使用したお通じの薬と量						
おつうじについて			時間	性状	便もれ	残便感
1回目			:		有・無	有・無
2回目			:		有・無	有・無
3回目			:		有・無	有・無
4回目			:		有・無	有・無
5回目			:		有・無	有・無

管理栄養士より

プロバイオティクス

腸で有益な働きをする生きた細菌や酵母のことで、乳酸菌やビフィズス菌がこれにあたります。これらの善玉菌を積極的に摂取することで、腸内細菌のバランスを整えることができるとされています。最近ではヨーグルト等のパッケージに記載されている商品も見かけますので見聞きされたことがある方も多いかもしれません。



シンバイオティクス

プレバイオティクス

腸内環境を整える上で大切な食品成分です。腸内で消化しにくい食物繊維やオリゴ糖などがこれにあたります。腸の蠕動運動を刺激し便通を促したり、善玉菌のエサになってくれるものです。このエサをもらった善玉菌が増殖することにより腸内環境の改善につながります。



プロバイオティクスとプレバイオティクスを組み合わせた相乗効果のことをいいます。腸内環境を元気にし、便秘の改善や腸炎の予防、感染予防など様々な良い影響があります。ヨーグルトの乳酸菌、野菜の食物繊維や果物のオリゴ糖を摂ることで、健康への良い影響をたくさん得ることができます。

日々の食生活にぜひ活用してみてくださいね♪♪

管理栄養士 長尾

リハビリテーション科

有田胃腸病院のリハビリテーション科を立ち上げてから1年が経過しました。この1年で様々な患者様のリハビリテーションを提供させていただき、以前在籍していた病院では診ることができない症例や立ち上げならではの経験をさせて頂きました。2月からは地域包括ケア病棟を立ち上げ、4月からは理学療法士3名、作業療法士1名を増員し、理学療法士7名、作業療法士2名の合計9名の体制となり、昨年度より患者様ひとりひとりに時間をかけてリハビリテーションが提供できる体制になりました。また帰巖会より月2回、言語聴覚士を派遣していただき、病棟での口腔ケアや摂食機能療法の指導を受けております。急性期治療が終了した後の自宅退院や施設入所などに不安があり、継続して入院でのリハビリテーションを受けたい方や、体力・筋力の低下を感じ、自宅生活に不安がある方など、当院へ一度ご相談ください。



リハビリ中の風景

レスパイト入院のU様・ご家族

92歳の父は、3年前に脳梗塞を起こして右側麻痺となりました。支えられて歩けるまでに回復しましたが、腎炎と誤嚥性肺炎を繰り返し衰弱し寝たきり状態になってしまい胃瘻手術を受ける事を決断しました。

有田胃腸病院ではリハビリテーション科が併設されていたので胃瘻術後に機能訓練を受ける事にしました。拘縮し固くなった手足が柔らかくなり普通の車いすで座位が保てるようになったので、胃瘻交換のたびにリハビリテーション科で機能訓練を受けるようにしました。手足が曲がるので服の着せ替えもできます。術後1年で体力がずいぶん向上して、痰を自力で出せるようになり吸引機は使わずに過ごせています。

父の入院で母は介護から解放されて心身ともに元気になりました。家族の心労も軽減されて本当にありがたかったと思います。

今年の満開の桜を、父と一緒に見る事ができました。いつも父を優しくケアし、家族も支えてくださった病院スタッフの方々に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。



筆者 ご家族様より

※**レスパイト入院とは**・・・“一時休止”、“休息”という意味です。

介護者の日々の疲れ、冠婚葬祭、旅行などの事情により、一時的に在宅介護が困難となる場合に期間を設けた入院の受け入れを行い、介護者の負担軽減（息抜き）を目指す仕組みです。

当院では、在宅で常時の医療管理および介護が必要な方を対象としたレスパイト入院に対応しています。ご不明な点は、地域医療連携室までご連絡ください。



診療案内・受付時間

	水	木	金	土	日	月	火
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休 診
午後 14:00~17:00	○	○	○	○	○	○	

※火曜日・祝日以外、午前 午後ともに診察しています。

医師所属科

外科	院長 白水 章夫	外科部長 小森 陽子	折本 大樹			
内科	副院長 阿部 寿徳	理事長 有田 桂子	瀧野 貴文	柴田 久美子	寺尾 英夫 (非常勤)	井上 健 (非常勤)
放射線科	副院長 脇坂 昌紀					
リハビリテー ション科	平山 純一					
総合診療科	杉谷 誠爾					

週間予定表

		水	木	金	土	日	月	火
午前	1診	瀧野	有田	有田	瀧野	白水	柴田	休 診 日
	2診	阿部	杉谷	平山	阿部	瀧野	阿部	
	3診	平山	白水	折本	白水	折本	井上 (循環器)	
	4診	小森	柴田	小森/(白水)	有田/杉谷	寺尾 (肝臓専門)	杉谷	
	放射線科	脇坂	脇坂	脇坂	脇坂	脇坂	脇坂	
	内視鏡 (胃カメラ)	有田・杉谷 (白水)	阿部・瀧野	阿部・瀧野 柴田	兒玉・外科	阿部・小森	有田・折本 (白水)	
午後	1診	有田/(杉谷)	杉谷/平山	柴田/平山	外科	外科	井上/平山	
	2診							
	3診							
	4診					寺尾 (肝臓専門)	寺尾 (肝臓専門)	
	内視鏡 (大腸カメラ)	阿部・瀧野 柴田	阿部・瀧野 柴田	阿部・瀧野	阿部・瀧野	阿部・瀧野	有田・宇野 柴田	

※外科の定例手術は午後13:30からです。

※上部内視鏡（胃カメラ）の場合朝コップ2杯までのお水はお飲みください。

代表 TEL 097-556-1772 FAX 097-556-1778
地域連携室 TEL 097-529-8960 FAX 097-529-8961

掲載内容についてのご相談・ご質問は、地域医療連携室までご連絡ください。

TEL:097-529-8960(直通) / FAX:097-529-8961 / Mail:arita-renkei@arita-hp.or.jp